

# 令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 地域経済動向調査まとめ

(令和4年 2022年 3月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

## 産業全体の景気動向の推移

<用語説明> D I 値 = 「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す  
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%=-50%がD I 値)

### <概要>

まん延防止等重点措置は3月後半で解除されたものの、これからの新型コロナウイルス感染症の動向に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響など、今後の見通しには不透明なところも多く、中小企業の先行きにも警戒感が続いている。最新(3月調査)の日銀短観では、中小企業者の先行きに関する業況診断DIは特に非製造業、中でも「建設」や「電気ガス」といった業種で悪化していた。以上を踏まえ、引き続き中小企業の景況を支えるための継続的な対策・支援が求められている。

### <地域別>

#### 【全国】

2022年1-3月期の全産業の業況判断D Iは、▲39.7(前期差17.8pt減)となり前期から悪化した。製造業の業況判断D Iは、▲43.8(前期差20.9pt減)となり、前期から悪化した。建設業の業況判断D Iは、▲34.2(前期差6.7pt減)となり、前期から悪化した。商業の業況判断D Iは、▲40.4(前期差20.5pt減)となり、前期から悪化した。サービス業の業況判断D Iは、▲40.2(前期差23.1pt減)となり、前期から悪化した。どの業種も前期に比べて悪化しており、原材料の高騰などによる採算悪化を招いている。

#### 【兵庫県】

企業の業況判断は、足もとが悪化し先行きも悪化の見通しである。個人消費は持ち直しの動きに足踏みがみられる。輸出は増加しており、設備投資は増加傾向にある。生産は弱めの動きとなっている。有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年と同水準であった。

#### 【西播磨】

西播磨全体の業況は、▲37.3(前期差11.8pt減)と悪化、売上高は、▲38.1(前期差13.3Pt減)と悪化、採算状況が、▲41.0(前期差8.9pt減)と悪化、資金繰りは、▲26.9(前期差7.9pt減)と悪化、来期は、▲23.1(前期差3.2pt増)でやや回復する見込みとなっている。全国と比較しても悪化の傾向となっている。

#### 【たつの市】

たつの市の業況は、▲44.0(前期差6pt増)と改善、売上高は、▲48.0(前期差4pt増)と改善、採算状況は、▲64.0(前期差12pt減)で悪化、資金繰りは、▲28.0(前期差2pt減)で悪化。来期は、6.0(前期差30pt増)で改善するとの見通しとなっている。

経済活動も徐々に再開し人流も増えた事で、見通しについても改善の傾向となっているが、原材料の高騰による価格改定が予定されており、各業種においても先行きが見通せない状況である。

### <業種別業況>

全国的には、産業全体の業況は、売上DIが10ポイント超、その他のDIは小幅な改善となり、1・2月の大幅な悪化からプラスに転じた。感染者数が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されたことから、一部業種で経済活動が活発化し、売上が増加している。しかし、原油高や資材不足による原材料高騰から、仕入高の増加につながっており、採算の悪化を招いている。また、コロナ禍の厳しい経済状況の中、価格転嫁が進まず事業者を苦しめている。

### <総括コメント>

国内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分に注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。たつの市においては、人流が多い地域柄、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ、事業者においては緊急事態宣言の解消に伴う経営の立て直しと合わせ、政府の経済対策(月次支援金・持続化補助金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みを引き続き積極的に行う必要がある。

## 管内の雇用情勢

<用語説明> 有効求人倍率 = 求人数 ÷ 求職者数  
(仕事が20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

令和4年3月期の有効求人倍率は、全国1.22倍、兵庫県0.96倍、龍野管内1.08倍となっている。たつの市は横ばいであるが兵庫労働局は足元の雇用情勢について求職が求人を上回り厳しい状況にあるとの情勢判断を継続した。加えて新型コロナウイルス感染症等が雇用に与える影響に引き続き注意する必要があると指摘し、物価高の影響などにも注目するとした。

